

2021（令和3）年度 第4回中村町内会防災委員会 議事録

開催日時：令和3年12月12日（日） 15:00～16:30

開催場所：中中村集会所

出席者：松永（委員長）、小峰（上）永井、（中）、表谷、安達、（下）（以上委員）、
町内会5役 宮崎（会長）、岡田（副会長）、佐藤（会計）國本（庶務）
山浦（上自治会長）、春山（中自治会長）、鈴木（下自治会長）：敬称略

司会：安達

記録：國本

1. はじめに

11月28日の防災研修会の総括と防災積立金執行計画の執行計画の確認、並びに防災マニュアル配布について確認を行います。

2. 前回の経緯：議事録内容読み合わせ確認。

3. 協議内容

（1）検討事項

①防災研修会（11月28日）について総括

◇委員の感想等

- ・動画を活用した研修会だったので成果があった。見ただけで終わらせないで、実際に訓練を行う事や、防災館で体験するなど実践に生かす意識が必要。
- ・実際に動けるかどうか、重要なのは情報の収集と伝達だと思う。
- ・各班で防災組織が確立できるよう、いろいろな役割を担当した人が揃うようになればベスト。
→ 一つの班ですべての役割を賄うのは難しいが、複数の班で集まれば防災組織として成立する。
- ・勤めに出ていると、昼間など災害時に戻れなくて役割を果たせない。町内に残っている人達で防災組織として機能するような検討が必要。
- ・遭難救助にかかわった経験から、「あるもの」、「いる人」で何とかするリーダーシップの意識が鍵になる。実技の訓練もやっておかなければ、何できないので、定期的な訓練を行っておくことが重要。
- ・実際に各班に分かれて実践しないと、形にならないと思う。
- ・班の中の人的交流が培われていないと実際の対応は難しいので、日頃の班単位での交流が大事だと思う。
- ・非常用の食料の賞味期限の確認とスケジュールされた機材の動作チェックが必要。動作確認には、平日の昼間に町内にいる女性陣の参加も必要。
- ・看護師など防災に関するスキルのある人の把握も有効。
- ・一区連合と中村の訓練の日程と参加者選定の兼ね合いが課題。
- ・防災組織の人的継続と伝承が簡単ではない。時間をかけて各自治会で防災組織を熟成させていくのが現実的ではないか。

◇次年度に向けて（スケジュール案）

- ・年度初め（5月15日） 全体会（班長以上） → （防災組織化）
防災組織の立ち上げ
- ・定例防災訓練（8月28日） 一区合同訓練（全員） → （防災啓発化）
機材のチェックなども含める
- ・町内会防災訓練（11月13日） 実践防災訓練（全員） → （防災実践化）
役割分担を含めて
- ・有志を募って防災館の見学などを行う。
- ・中学生も防災の戦力となるべく学校と連動して一緒に訓練を行う事もよいのではないか。

②防災積立金執行計画について（現状と検討すべき課題）

- 長期：

防災倉庫 備品がすべて入る倉庫を基準とする。30万円 X3 自治会=90万円

上中村 現状で足りている。

中中村 現状の倉庫から下中村備品が排出された後に、新規の倉庫の必要性を検討する。

下中村 光明寺の駐車場に新設する予定で進めている。（見積書あり）

- 中期：

防災用テント 5万円 X3 自治会=15万円（次年度）

ディスクグラインダー 3,000円 X3 自治会=9,000円（次年度）

発電機（各自治会分は準備済で対策本部用の900Wのものがすでにある）

- 短期：緊急用飲食料等

500cc飲料水・非常食（カロリーメイト） → 300円 X800=24万円

安否確認タオル（配布済） → 67,750円

防災ベスト（配布済） → 20,850円

→ 短期の予算はいつ執行するのか。 ← 執行計画を作成し総会で諮る。

← 消耗品は積立金を使うより、市の交付金を先に充当した方がよい。

◇検討すべき必要品リスト（案）

ヘルメット、軍手、ロープ、投光器、担架、折り畳みリヤカー

ハンドマイク、ブルーシート、毛布、薪かまど、タンク入り飲料水

簡易トイレ、非常用オムツ、救出用ゴムボート、非常用燃料 等

- ブルーシートがあれば簡単な小屋掛けもできるし使い勝手がよい。
- 防災荷車の積載品リスト確認。
- 中村広場の既存の防災用品などを含めチェックリストの作成が必要。

- 各自治会の現有ヘルメットは2～3個なので手配が必要。
- 投光器などは、まつり備品とは別で考える。

③その他

- ・防災委員長作成の「自助」(自宅)・「公助」(町内会・自治会)の対応の考え方説明。
避難すべき対象はだれか、全員ではないことを理解する。
優先順位は、まず消火、救出、そして避難誘導。
- ・町内会に設置されている消火器は市の管理。
消火栓、消火器、井戸、AEDなどの設置場所を把握しておく必要がある。
→ 総合的なマップを作る。
- ・「防災マニュアル」
第1版・会員向け12ページ構成。モノクロコピーで800部作製し年内配布予定。
12月19日各自治会に配布する。
最終的なものは、皆さんの意見を盛り込み、次年度に印刷を外注して作成したい。

(2) 運営方針確認 (委員会を開催するにあたって)

- ① 各自治会から1名以上の出席。
最低1名以上の参加ができるようにしたい。
- ② 委員会は最大2時間以内 (※今年度も → 1時間30分以内としたい)
- ③ 必要に応じて小委員会設置も検討する。
- ④ 委員会協議内容の公開化 ← 議事録作成し公開する。

(3) 今後の日程 (各月1回)

次回委員会 1月16日(日) 14:00～ 中中村集会所

4. 終わりに

具体的な案が出てきました。次回は総会に向けた、委員会のまとめについて意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

以上